



祖先を顕彰する宗像の源流

宗像大社所蔵「伝勘合印」が持つ意味

「新修宗像市史」中世部会から

中世部会は主に鎌倉・室町時代を対象に調査を進めています。今回は、宗像大社が所蔵する「伝勘合印」から、中世の宗像大社の対外貿易を検討します。

問い合わせ先
郷土文化課 ☎(62)2600

宗像では中世にも活発な対外貿易が行われていました

宗像大社が展開した海外交流は古代に注目が集まっていますが、中世にも対外貿易が展開されていきました。1392年に成立した朝鮮王朝の史料に多くの通交記事が見え、宗像氏は朝鮮王朝と活発な貿易を行っていたと考えられています。

当時は、在地勢力が朝鮮貿易を行うには、「図書」と呼ばれる私印が必要で、九州国立博物館には、宗家旧蔵の図書として伝わった宗像氏助の図書が所蔵されています。しかし、これは16世紀に對馬宗氏が独自に取得したもので、宗像氏と関係はありません。



宗像氏助「図書」
＝図書印印面、
図書印全容



九州国立博物館所蔵
「対馬宗家旧蔵の
「図書」(図書印)と木印」
(重要文化財)

宗像大社に伝わる「伝勘合印」

現在、宗像大社には「伝勘合印」と呼ばれる朝鮮貿易で使用したとされる印鑑

宗像大社所蔵
「伝勘合印」



勘合印印面



勘合印全容

の模造印と、その来歴を記した「勘合印由来由記」が伝わっています。しかし、「勘合印由来由記」には、伝勘合印は宗像氏貞の娘が嫁いだ毛利氏家臣草刈氏に伝

では、どうしてこのような印鑑が作られたのか。このように祖先顕彰のため、後代に物証を作り上げるというケースは多く見られます。一方で、これは草刈氏が祖先を愛し、朝鮮貿易を偉大な事績だと敬った証でもあります。宗像大社の対外交流を顕彰する姿勢は、そうした行為の積み重ねの上に立つものだと思います。

(新修宗像市史編集委員・松尾弘毅)

祖先の「宗像愛」を推しはかる

図書館のルールが一部変更になります

7月1日(土)以降、次の点が変更になりますので、注意してください。

- ▼利用カードの有効期限が、最終利用日から3カ年になります
- *有効期限が切れた場合、図書館カウンターで運転免許証や保険証など身分証明書を確認後、カード使用可
- ▼本、雑誌、カセットテープは、合わせて10点まで15日間借りられます
- ▼所蔵していない資料のリクエストは、宗像市民に限ります
- *発行されたものか、発行日が確定したものに限り
- ▼借りた資料を紛失、破損した場合の弁償猶予期限が1カ月になります

本は大切に

- 図書館の資料は、市の財産で、公共のものです。大切に扱きましょう。
- ▼返却期限までには必ず返しましょう
- ▼汚したり、破ったり、ぬらしたりしないように気をつけましょう

パスワードとメール登録で更に便利になります

- 中学生以上の利用者は、パスワード・メール登録ができます。
- ▼どちらも自宅のパソコンやスマートフォン、図書館のOPAC(利用者用の検索パソコン)で手続きできます
- *本人に限る
- ▼借りている資料の継続手続きや、読みたい資料の予約ができます
- ▼新刊のお知らせをメールで受け取ることができます
- *好きな作家やジャンルを選んで登録可



「赤ちゃんのおはなし会」に妊婦さんも参加できます

おなかの赤ちゃんといっしょに、「赤ちゃんのおはなし会」に参加しませんか?

赤ちゃんが生まれると、すぐには外出できないくらいに忙しくなるかもしれません。そこで生まれる前に、わらべうた遊びや絵本の楽しみ方などの見学をおすすめします。おはなし会を体験した後で、赤ちゃんメディアとの関わり方などについてもお話します。

- 日時 毎週木曜日
▽11:00～
▽11:30～
▽13:30～
- *各40分程度
- *祝日と最終木曜日は休み
- 会場 えほんのへや(メイトム宗像内)
- 対象 妊婦さんと家族ら
- 参加料 無料 *事前申込不要



「赤ちゃんのおはなし会」の様子

問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321

会場 宗像ユリックス
福岡県宗像市久原 400

4/15(土)、4/16(日)
いずれも 10:00~12:00 会議室8

参加費無料(要予約)

お電話でお申し込みください。
☎0120-041-075
プロタイムズ福岡北店 | 株式会社フクモト工業
電話受付 / 9:00 ~ 18:00

主催: 一般社団法人市民講座運営委員会
東京都千代田区富士見 1-6-110F
協賛: プロタイムズ福岡北店 株式会社フクモト工業
福岡県宗像市自由ヶ丘 11-22-3

市民講座 屋根・外壁塗り替えセミナー

全国各地で年間400回以上の市民講座を開催してきた一般社団法人市民講座運営委員会が、このたび、宗像市の会場で、後悔しない塗り替え施工のノウハウを一般の方にも分かりやすく専門家である外装劣化診断士から聞ける市民講座を開催する。参加は無料だが、電話申し込みが必要。

外壁・屋根の塗装は、専門的な知識や技術が必要。そのため施工業者を信頼してすべてを任せざるを得ない。しかし、専門的な知識を持っているはずの施工業者が正規の施工仕様を守らず、自己基準の施工をして不良施工になるケースが後を絶たない。その為、工事後1年以内に全体の3割でトラブルが生じるともいわれる。信頼できる施工業者を選ばず、信頼できる消費者にも正しい知識を身に付ける事が求められている。そこで、この市民講座では信頼できる業者の選び方、見積書や塗装仕様書の注意点を詳しく分かりやすく説明する。

広告

